





# 大雨時の避難の心得

## 1時間雨量による雨と被害の目安

やや強い雨 (10~20mm)	強い雨 (20~30mm)	激しい雨 (30~50mm)	非常に激しい雨 (50~80mm)	猛烈な雨 (80mm以上)
ザーザーと降る雨。地面いちめんに水たまりができます。長く続く場合は注意が必要です。	どしゃ降りの雨。側溝や下水があふれ、小川のはん濫、崖崩れの心配もあります。	バケツをひっくり返したような激しい雨。道路が川のようになり、規制も行われます。	滝のように降り、地下に雨水が流れ込む場合や土石流も発生しやすくなっています。	息苦しくなるような圧迫感があり、雨による大規模災害が発生するおそれがあります。
				

### 避難の呼びかけに注意を



危険が迫ったときには、役所や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

### 速やかに避難しましょう



避難勧告などは、危険が迫ったときに出されますので、速やかに避難しましょう。避難の際には警察などの指示に従いましょう。

### 避難する前に



避難する前に、電気・ガスなどの火元を消し、避難所を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。

### 動きやすい格好、2人以上での避難



避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。

### 高い道路を通りましょう



避難にはできるだけ高い道路を選び、浸水箇所があった場合は、溝や水路に十分注意しましょう。また、がけ地などでは土砂災害に注意しましょう。

### 万が一、逃げ遅れたときには



万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、近くの丈夫な建物の2階以上に逃げましょう。

### 車での避難は控えて



車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また、交通渋滞をまねき、浸水すると動けなくなりますので、特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

### 車を放置しない



水防活動の妨げになりますので、自動車を堤防や道路に放置しないようにしましょう。